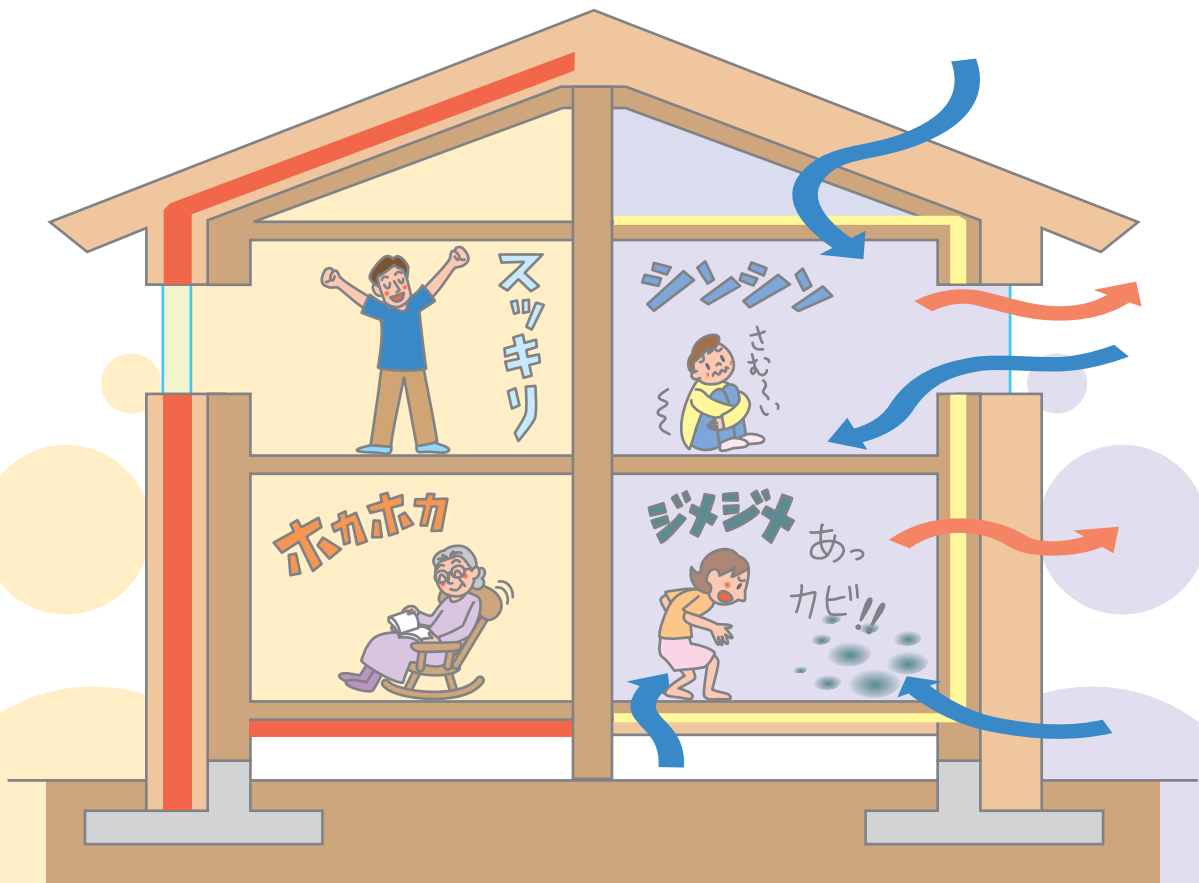


# 身体にも地球環境にも やさしい住まい

高気密・高断熱住宅は気密・断熱・換気がポイント。外気の侵入と室内空気の流出を抑えることで、少ないエネルギーで快適性が高まるほか、良好な空気環境を維持し、省エネと健康に大きな効果をもたらします。



## 高気密・高断熱の家

気密性・断熱性の高い住まいは、エネルギー消費効率が高く省エネルギーにつながります。高気密・高断熱を実現することで、四季を通じて快適な生活を送れます。

そのほか、気密施工を行うことにより防湿性が高くなるため、冬の難敵・結露対策にも効果を発揮します。

## 気密性・断熱性の低い家

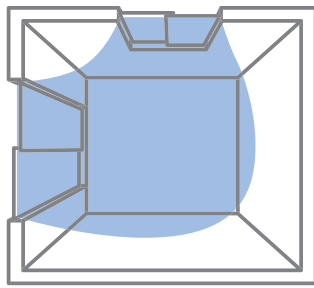
気密性・断熱性の低い住まいは、絶えず中の空気と外気が入れ替わるため、暖めても冷やしてもエネルギーロスが多くなります。また、断熱化されていない部分で結露を起こし、柱や土台が腐食する恐れがあります。

## 不快なひんやり

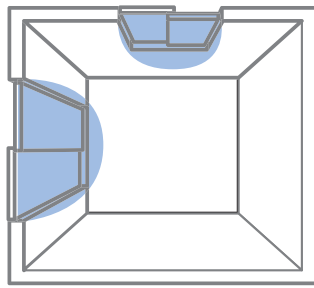
### 「冷輻射」現象を防止

冬、暖房時でも窓際に冷気を感じるのには冷輻射現象のせい。室内に不快ゾーンをつくり、さらに冬の窓面の冷気が下降気流を起し、部屋全体に広がります。断熱複層ガラスの使用により、この不快ゾーンが激減します。

冷輻射による不快ゾーン比較



1枚ガラスの場合  
(ガラス3mm)



断熱複層ガラスの場合  
(ガラス3mm+空気層6mm+ガラス3mm)

## 床と天井、各部屋の

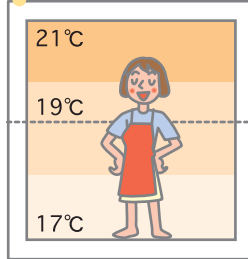
### 温度差が小さくなる

床と天井付近の温度差が小さくなり、足元が冷たく顔だけが火照るといった不快な現象を解消。どの部屋も同じくらい室温のため、温度の急激な変化(ヒートショック)による脳卒中などを防ぎます。

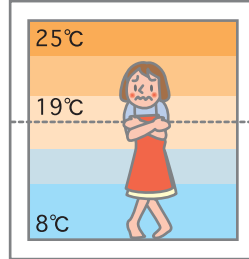
室内上下の温度差が少なくなり快適



家中の室温がほぼ均一で、身体にもやさしい



十分な断熱をした場合

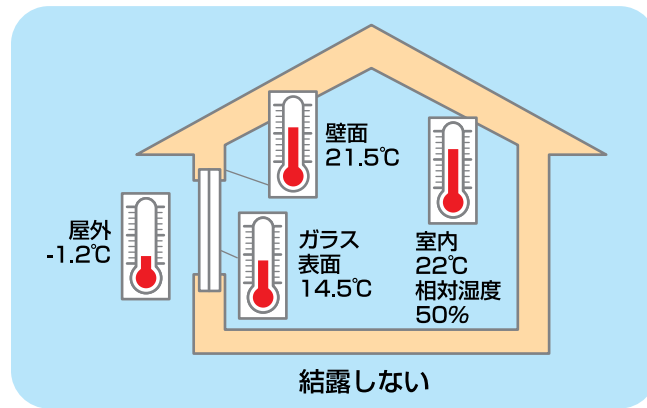


断熱をしていない場合

## 表面結露を防止する

冬季、室内の壁や窓の面温度が高くなるため、表面結露がしにくくなります。それによって、人体に悪影響を与えるカビやダニの発生を防ぎます。

冬季における高断熱住宅室内の表面温度と外気温比較イメージ



## 常にきれいな空気を維持

計画換気により、室内の汚れた空気は外へ排出。常に空気を清浄に保つことができます。

## 高气密・高断熱住宅で快適に暮らすには

換気に配慮し、温度と湿度の両方をチェックすることがポイントです。

### ● 暖房器具は排気を屋外に出すタイプを

室内で石油やガスを燃やして直接暖めるタイプの暖房器具(ストーブやファンヒーター)は、排気ガスと水蒸気が絶えず室内に出るため空気汚染や結露の原因に。

### ● 大量の洗濯物を室内に干さない

長時間、高湿度が続くとカビやダニの発生原因に。どうしてもという場合は、換気扇を回して排気しながら干すこと。